

きらり いわた 人

水泳の大舞台を目指す磐田農業高校2年

あかり 伊藤亜香利さん

2003年生まれ。湖西市在住。
水泳に限らず、日々の何気ないことにも全力で取り組むストイックな伊藤選手。しかしレンズを向ければ一転、キュートな笑顔を見せる高校生。オフの日は音楽を聴くなど、好きなことに没頭する。

写真提供(左上)：磐田農業高等学校



高等学校47都道府県通信水泳競技大会2000^{リットル}背泳ぎで全国ランキング第1位に輝き、第62回日本選手権(短水路)2000^{リットル}背泳ぎで2位の選手にわずか0・26秒まで迫り銅メダルを獲得するなど、急成長する県立磐田農業高等学校2年の伊藤亜香利さんにお話を伺いました。

水泳を始めたきっかけや魅力を教えてください

もともと水泳が好きな家族なので、1歳からプールに連れて行ってもらい、よく水に触れていました。水泳の魅力は、コツコツ練習すれば必ず結果がついてくるところですね。得意なのは「バサロ」です。潜水している間は少し苦しいですが、耐えるのは得意です。

これまでの試合を振り返っての感想を聞かせてください

会場を複数に分けて行う「通信」という形の大会がありました。開いてくださったことが何よりもうれしかったです。表彰台に登れたこともありましたが、トップの選手が出場していない大会もあったので、現状に満足してはいけないと思っています。

ここまで成長できた秘訣は何ですか

家族やスイミングスクールのコーチの存在が大きいと思います。日頃から

温かく支えてくれる家族はもちろんですし、コーチは小さい頃からお世話になっていて、小さいなこともきちんと指導してくれるので、信頼しています。

普段どのような練習をしていますか

毎日6000^{リットル}〜7000^{リットル}泳ぐほか、腹筋や背筋、縄跳びをしています。今やっていることが何につながるのかを意識して練習しています。練習そのものだけでなく、食事にも気を付けています。たんぱく質が豊富な鶏肉をメニューに入れてもらい、寝る前はキウイフルーツを食べておなかの調子を整えています。

将来どんな選手になりたいですか

今は短水路での戦いですが、将来は長水路で泳ぎ、世界レベルの大舞台で戦えるような選手になりたいです。同年代では、粘り強いスタイルが持ち味のアメリカ人のレーガン・スミス選手が目標です。また、自分の泳ぐ姿が他の人に元気や勇気を与えられたらとてもうれしいです。そのためには、4月に開催される予定の日本選手権の決勝に出場することが直近の目標ですね。

これからの自分に一言お願いします

「今のままじゃ勝てないぞ」ですね。大会で1位になるのが目標ではなく、自分の全力を出して戦います。